

## 目次

序にかえて

### 第1部 総論

第1章 体制転換の分析視覚と課題—国家と経済の関係をどう捉えるか……

盛田常夫・タテヤマ・ハンガリー顧問（元法政大学教授）

第2章 ロシアから見た体制転換と国家浸透経済……溝端佐登史・京都大学経済  
研究所所長

第3章 移行経済論4つの教訓……岩崎一郎・一橋大学経済研究所教授

第4章 指令経済から（周辺）資本主義へ—ハンガリーでの30年にわたる社会・  
経済面の以降からの教訓……ボッド・ピーテル・アーコシュ／コルビ  
ヌス大学教授（元中銀総裁、元経済相） 日臺健雄 和光大学准教授  
翻訳

第5章 ポスト協賛主義期のチェコにおける国家と市場  
……マルチン・ポチュチェク／カレル大学教授  
（元年金改革政府特別委員会議長）  
日臺健雄／和光大学准教授 翻訳

### 第2部 各論

第6章 「緊縮と反緊縮」からみた中国の経済体制……梶谷懐／神戸大学教授

第7章 中国の国家と資本……渡邊真理子／学習院大学教授

第8章 ロシア国家資本主義と知識経済への転換

……溝端佐登史／京都大学経済研究所所長&杉浦史和／帝京大学教授

第9章 新興国のキャッチアップと国家資本主義論……日臺健雄／和光大学准  
教授

第10章 欧州新興市場国におけるキャッチアップ戦略……池本修一／日本大学  
教授

第11章 ハンガリーの生産とイノベーション……田中宏／立命館大学教授

第12章 ポーランドの体制転換……田口雅弘／岡山大学教授